

昨年度の決算認定など行い 市議会9月定例会閉会

コロナ禍、物価高騰などへの支援策ほとんど打ち出されず

平良木議員が4つの決算に反対討論

補正予算 ほとんどなし

市議会9月定例会が、27日に最終日を終え、閉会しました。

政府の無策による諸物価高騰の下で行われた議会だけに、市民生活を支援する思い切った補正予算が期待されていましたが、農家に対する有機肥料の購入費補助などを除くと支援策は打ち出されませんでした。

今後、政府による低所得者世帯への5万円の特別給付金などの給付が行われる見通しですが、対象は限られていますので、広い市民向けの支援策が求められます。

決算は 市政運営そのもの

9月議会の主要な議題は、昨年度の決算です。

一般会計のほか、国民健康保険や介護保険などの特別会計の決算が審議されました。

決算認定は、その年度の市政運営そのものを評価するための議題です。コロナ禍に明け、コロナ禍で暮れた昨年度の市政がどうだったかを評価します。

全体として、市民の暮らしを支援する数々の手立てが講じられたとはいえ、決して十分ではありませんでした。加えて暮れからの原油高騰等による物価高では、多くの市民の暮らしが追い詰められてきました。それが、その対策はほとんど取られてこなかったのが実情です。

昨年秋には市長が代わりまりました。新しい市長は、前任者による予算執行であるにしても、新しい視点での執行ができるはずですが、「人事改革」や「地域独自の予算への変更」に力を入れる一方で、結局は無批判にそのまま執行してきました。

暮らしが追い詰められてきました。それが、その対策はほとんど取られてこなかったのが実情です。

暮らしが追い詰められてきました。それが、その対策はほとんど取られてこなかったのが実情です。

暮らしが追い詰められてきました。それが、その対策はほとんど取られてこなかったのが実情です。

4つの予算認定に 反対

反対

こうしたことを受け、日本共産党議員団は、決算のうち、一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の4つの認定に対して反対しました。

反対に当たって、平良木議員が討論を行いました。反対する理由を述べました。

一般会計では、保育園を中心に非正規雇用職員が多い状態を改善していないこと、学校給食の民間委託をさらに拡大してきたこと、

公共施設の廃止や譲渡を無理矢理進めていること、国民監視・人権無視につながるマイナンバー制度を無批判に推進してきたこと等に

加えて、コロナ禍や物価高騰に対する支援策がまったく不十分であることを指摘しました。

なお、市はこの要望に背を向けるかのように、27日には市役所各庁舎に半旗を掲げました。



日本共産党上越市議員団ニュース
No.764 2022年10月2日
連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

生活保護世帯へのエアコン補助

ゆがみの是正求める請願否決

9月議会には、市民から「生活保護対象者の冷暖房機器購入費用の助成を求める請願」が出されました。

生活保護対象者には、2018年からエアコン購入費が支給されています。しかし、これは同年春以降に生活保護を受給する人に限

られ、それ以前から受給している人には支給されないというゆがんだ制度になっています。

そこで、国の制度の改善を求めつつ、市が独自に支援してほしいという内容の請願です。党議員団は、市としてすぐに手を打つべきだと強く主張しましたが、「借金して買う手もある」「自力で買った人と不公平になる」などを理由に反対する議員が過半数を占め、不採択となりました。